

生産ロットにより、多少色や外観の差が生じる場合があります。

建築基準法対応カベ紙

F☆☆☆☆

国土交通大臣認定番号 MFN-2205

F☆☆☆☆とは、建築基準法で定めたホルムアルデヒドの発散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に使えることを表します。

特 長

① 水ものりも不要です

本品は、カベ紙の裏面にプロ用の生のを塗り、透明フィルムを貼り合わせています。

② そのまま貼れる

裏面の透明フィルムをはがすだけで、そのまま貼れます。

③ 位置合わせ、貼り直しもラクラク

生のりなので、シワや空気が入っても貼り直しが簡単にできます。

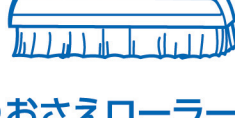
④ 防カビ加工で清潔

カベ紙とのりに、カビの発生を抑える防カビ加工をしています。

使用する道具

●おさえハケ

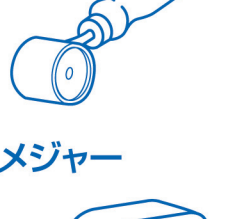
●柄つきカット定規



●おさえローラー



●ヘラ



●メジャー



●カッターナイフ



●ハサミ



●糸と5円玉などのおもり、えんぴつ、押しピン



●マスキングテープ



●ビニルシートなどの養生シート

貼 れ る 面

- 古いカベ紙をはがした面
- ベニヤ板
- シックイ壁
- セッコウボード
- コンクリート
- モルタル

貼 れ ない 面

- 凹凸の激しい面
- 浴室内などの水のかかる場所
- レンジまわりなど火気のある壁面
- 屋外

下地調整をした後、貼れる面

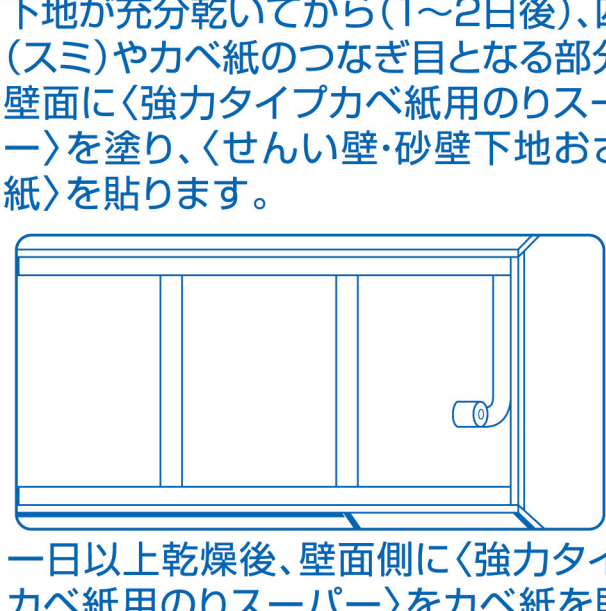
化粧合板・ツヤあり塗装面に貼る場合

カベ紙がよく接着するように、〈化粧合板用サンダー〉またはサンドペーパー(#180~#280)で表面を研磨します。削りカスを充分拭きとってから、カベ紙を貼ります。

せんい壁・砂壁に貼る場合

① 〈せんい壁・砂壁おさえ〉を塗り、下地を固めます。ボロボロとはがれ落ちる場合は、〈せんい壁・砂壁はがし〉でせんい壁・砂壁を取り除いてください。

② 下地が充分乾いてから(1~2日後)、四隅(スミ)やカベ紙のつなぎ目となる部分の壁面に〈強力タイプカベ紙用のりスーパー〉を塗り、〈せんい壁・砂壁下地おさえ紙〉を貼ります。



③ 一日以上乾燥後、壁面側に〈強力タイプカベ紙用のりスーパー〉をカベ紙を貼る1枚分の面だけに塗り、その上からカベ紙を貼ります。貼りつく場合は、同様の作業※を繰り返します。

※ 裏面の生のりだけでは、接着が不十分のため、必ず〈強力タイプカベ紙用のりスーパー〉を壁面に塗布してください。

〈強力タイプカベ紙用のりスーパー〉は、一度に全面に塗ると乾燥して貼れなくなりますのでご注意ください。

下地の凹凸の程度により、カベ紙の表面に下地の凹凸が現れることがあります。せんい壁などに本品を貼られる場合は、凹凸が目立ちにくい、厚みのあるカベ紙を選ばれることをおすすめします。

貼り方の手順

① 貼る前の準備



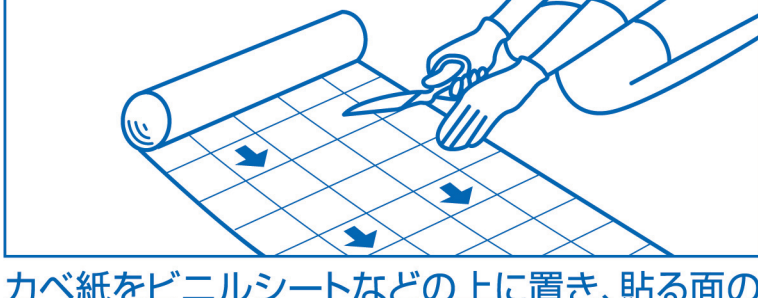
古いカベ紙を貼りかえる場合は、表面の層をきれいにはがします。カベ紙以外の下地の場合は、貼る面のホコリや汚れをきれいに拭きとります。下地の凹凸は〈穴うめ下地パテ〉などで平らにします。〈カベ紙用あらかじめ、柱まわりや床面などにのりがつかないように、マスキングテープやビニルシートなどで養生しておきます。

② 垂直線を引く



カベ紙をまっすぐに貼るために垂直線を引きます。上図のように5円玉などを糸で吊り下げ、糸の端を押しピンでとめ、えんぴつなどで垂直線を引きます。

③ カベ紙をカットする



カベ紙をビニルシートなどの上に置き、貼る面の長さよりも、上下とも2～3cmくらい長くカットします。裏面フィルムの目盛はあくまでも目安です。

④ 位置を決め、仮止めする



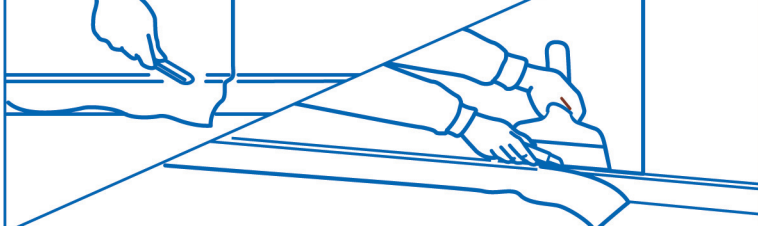
裏面フィルムの↑印が上向きになるように本品を持ち、裏面フィルムを20cm程度はがし(凹凸がある面は約50cm程度)、垂直線に合わせて貼る位置を決め、仮止めします。2枚目以降も↑印が上向きになるように本品を持ち、貼りつぎます。

⑤ 1枚目のカベ紙を貼る



貼る位置を確認した後、裏面フィルムを50cm程度ずつはがしながら、〈おさえハケ〉などで中心から両側へ空気を押し出すようにして貼ります。シワになったらその部分まではがして、貼り直します。貼り直す時はカベ紙が破れないように取り扱いに注意します。

⑥ コーナー仕上げ



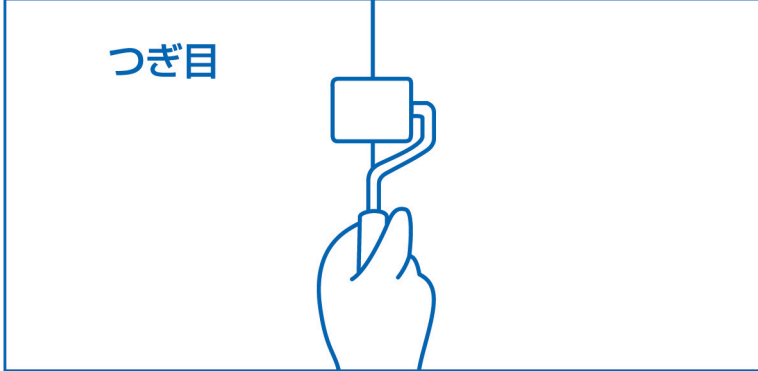
コーナー部分は〈ヘラ〉などできめ込み、〈柄つきカット定規〉をあてながら、よく切れるカッターナイフで切りとります。きれいに仕上げるために、カッターナイフは常に新しい刃先にします。

⑦ 2枚目のカベ紙を貼る



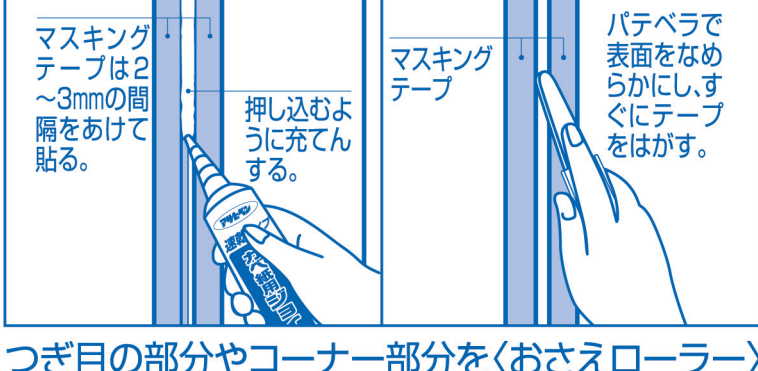
2枚目のカベ紙は図Aのようにジョイントテープ(オレンジ色)が重なるように貼り合わせます。次に図Bのように重ねたカベ紙の中央部に〈柄つきカット定規〉をあてて、よく切れるカッターナイフで切ります。図Aの①②③の順で余分なカベ紙とジョイントテープを取り除きます。下地がセッコウボードの場合、下地を切るとセッコウボードの表層からめくれてくる場合があります。万一、めくれてきた場合は〈カベ紙補修のり〉で補修してください。

⑧ 仕上げ



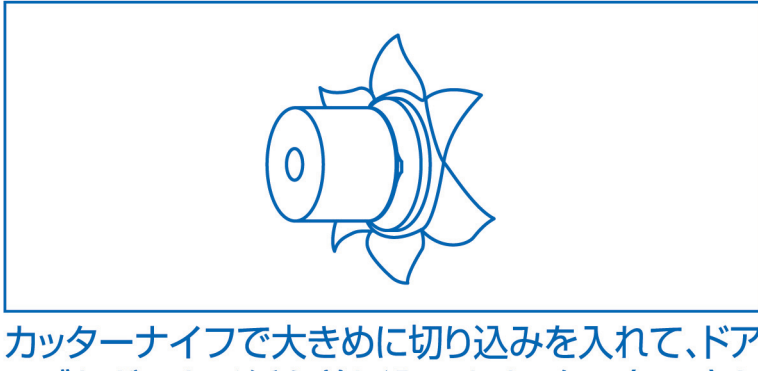
つぎ目

コーナー部分でのカベ紙用ジョイントコークの使い方



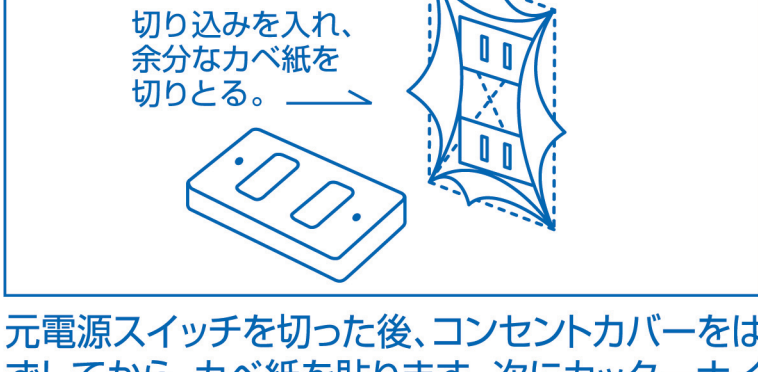
つぎ目の部分やコーナー部分を〈おさえローラー〉で充分押さえて、接着させます。コーナー部分で貼りつぎする場合は、コーナー部分のハガレ防止に〈カベ紙用ジョイントコーク〉で充てんをします。

ドアノブなど突起物の仕上げ



カッターナイフで大きめに切り込みを入れて、ドアノブなどにカベ紙を差し込みます。次に〈ヘラ〉などできめ込み、カッターナイフで余分なカベ紙を切りとります。

コンセントやスイッチ部の仕上げ



元電源スイッチを切った後、コンセントカバーをはずしてから、カベ紙を貼ります。次にカッターナイフで切り込みを入れ、余分なカベ紙を切りとります。カバーとの間にすき間が開かないように、カベ紙はひとまわり小さくなるように切りとります。はずしたカバーを元の位置に取りつけます。

貼る前のご注意

- 本品は袋を開封して長時間置いておくと、のりが乾燥して接着が悪くなることがあります。袋から取り出しカットを行った後は、なるべくすみやかに作業を行ってください。
- 製品の安全性には充分配慮していますが、体質・体調によっては体調に変化を及ぼすこともあります。化学物質過敏症の方、ににおいに敏感な方、体調のすぐれない方は使用しないでください。
- のりがついても支障のない服装で作業をしてください。
- 本品は品質を保持するため、袋内部を脱酸素状態にしています。この影響でカベ紙の包装形状が変形している場合がありますが、貼りつけ作業や貼りつけ後の仕上がりには問題はありません。
- 生のりには多量の水分が含まれていますので、温度変化により袋内部に水滴が付着したり、袋底部にのりを含んだ透明もしくは乳白色の液体が少量たまったり、カベ紙の表面や裏面フィルムが湿っている場合がありますが、貼りつけ作業や、貼りつけ後の仕上がりには問題はありません。気になられる場合は、カベ紙の表面を水拭きしてからご使用ください。
- 下地の凹凸の程度により、カベ紙の表面に下地の凹凸が現れることがあります。
- 表面処理加工された化粧合板には、〈化粧合板用サンダー〉または、サンドペーパー（＃180～＃280）で表面を研磨して、削りカスを充分拭きとってから、貼ることができます。一部の表面処理加工された化粧合板は下地調整をしても貼れない場合がありますので、一度試し貼りをすることをおすすめします。

作業上のご注意

- カベ紙にシワが入っている場合がありますが、貼りつけ後、乾燥とともにシワはなくなっていくます。
- 貼りつけ作業中、及び貼りつけ後のりが乾きにおいがなくなるまでは、よく換気を行ってください。
- 皮ふの弱い方は、のりで手が荒れることがあります。作業中は薄手のゴム製やポリエチレン製などの手袋をご使用ください。
- のりが手や衣服などについたら、すぐに水洗いするなどしてください。のりが乾くと取れにくくなります。
- 周囲やカベ紙表面にのりが付着した場合は、すみやかに水でぬらしたスポンジなどで拭きとってください。そのまま放置しますとのりが取れにくくなったり、黄ばんでくる場合があります。
- 万一、のりが目や口に入った場合は、直ちに多量の水で洗い流してください。
- カベ紙貼り用途以外には使用しないでください。

下地のご注意

- 下地が油やタバコのヤニなどで汚れていると、十分に接着しないことがあります。

保管上のご注意

- 開封後は出来るだけ早く使い切ってください。
- 開封したカベ紙を一時的に保管する場合は、カベ紙をパック袋にもどし、密封して0℃以上の冷暗所に保管してください。（未使用の製品も同様です）のりが乾燥すると貼れなくなります。早めに使い切ってください。

作業後のご注意

- 貼りつけ後、においがなくなるまでの間は、こまめに換気をしてください。
- 作業終了後は、石けんを使ってぬるま湯でよく手を洗い、クリームなどでお手入れをしてください。
- 本品は塩化ビニル製品です。ゴミとして廃棄される場合は、各自治体の指示に従って処分してください。
- 本品はより良い製品を目指し、予告なく製品の仕様、デザインなどを変更することがあります。

材 質

基 材：塩化ビニル樹脂、紙
接着剤：でんぷん



外箱



内装:PP (ポリプロピレン)

外装:PE (ポリエチレン)

PET (ポリエステル)

株式会社 **アサヒペン**

大阪市鶴見区鶴見 4-1-12

<http://www.asahipen.jp>

お客様相談室

☎ 06-6934-0300